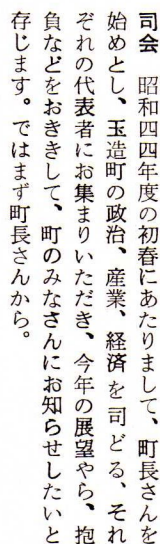


野口雨情没

昭和44年1月1日 毎月1回発行 昭和38年1月23日第三種郵便物認可

新年語



司会 昭和四四年度の初春にあたりまして、町長さんを始めとし、玉造町の政治、産業、経済を司どる、それぞれの代表者にお集まりいただき、今年の展望やら、抱負などをおききして、町のみなさんにお知らせしたいと存じます。ではまず町長さんから。

米があまっているのだ、という感を一層深くいたしました。しかし、農家から見れば、開びやく以来、國民の食糧生産の責任を負わされ、増収技術の研究に研究を重ねて、汗水をたらして精を出し、その成果があがったと思つたら、そのとたんに『米があまったから減反しろ』では、あまりにも農家をバカにした政策でなからうかと思ひます。

司会　食管会計の赤字ということが、米価よくせいの旗印となり、今また、政府手持米の余じょうとということが、大きな味方となつた米価よく製の世論に対し、農協長として、どのように考えますか。

大川 玉造町の場合、経路の支配力は農業を置いて外にはないと思います。ところ

家所得は県平均の数字で四二年百五万二千円、うち農業所得は五八万七千円で六割だけという数を示しています。家計費について言え

ば、四二年には八四万円で二十万円は貯蓄にまわったが四三年には二百二十万の所得のうち家計費百五万円で残りは十五万しかなくなっています。四四年には、さらに

所得と家計費の差がつかまって収入と支出がまったく同じ数字となる

さる十二月十五日、青年団女子活動部（部長原田和代さん）では青年研修所において料理、社交ダンスの実習会を開催いたしました。

第一回の料理、衛生講話に引き続き続いて

今回は第二回目の研修会でした。

多数の団員が参加し、終始なごやかに楽しく進められました。

今回は、午前中は、中学校の根崎ふで先生を講師に迎え、手じかな料理でおいしい品をと、和

もある女子部員は、さすがに手慣れた手付で仕上げてしまい根崎先生を感心させるほどでした。試食会には男子団員をまじえて味かげんなどの意見をうかがいました。

午後は、麻生町の酒井先生による社交ダンス実習会を行いました。先生の一挙一動も見逃すまいと熱心に汗を流しての実習で、ワルツとブルースの基本を学びました。今回に限らず、続けられます

青年団女子活研修会

あなたも参加しませんか

▽お年賀に着た晴れ着—女性の晴れ着、男性の洋服とも—は十分、しまよ、これをおとししまいませうよ。

しみ抜きは、しみの種類によって仕末の仕方が違います。酒、しょうゆ、お茶などは、ぬるまゆの石けん水をガーゼにふくませて、ふきとります。

おしろい、くつずみ、コーヒ—などは、まず、ぬるまゆをふくませたガーゼでしみをふきとり（こければ、しみの拡がをふせぐことにもなる）、ハットン乾かしから

町長 昨年は明治百年というところで国を挙げてお祝をし、いわゆる昭和元禄と言われた年でした。しかし、その反面社会経済面では、所得格差が生じるという暗い面もでてきてはいるのではなからうかと存じます。

町の財政面では比較めづまれ去年度約三千七百万の黒字を出すという状態です。現原小建設も解決を見て、今年こそ前向きな姿勢で予算編成が出来るのではなからうかと

町長 期待しております。

今年は明治百年ということで町に關連する、いろいろな問題をどのように推進するかを研究決定して、勇猛邁進する第一年であると考えます。

司会 町政については、町長と共に表裏一体をなす議会を代表して、議長さんからひとこと。

竿台 四三年度中は、議会の運営について一段の進歩をとげた年であったと自負しております。

すなわち、現原小問題を契機として、議員全員が真げんに研究する立場になって行動したし、玉造町振興協議会の運営によって、部会ごとに、それぞれの問題を執行者と共に研究する慣例ができたことなどがそれで、四四年は、これからの町の十ヶ年の振興計画が樹てられる年でもあり、住民の心を心とした議会活動を展開したいと存じます。

司会 財政面で、それぞれのご意見をうかがいましたが、続いて産業面で玉造町の戸数の七割をしめる農業に関し、特に米の問題がやかましく言われている今日、農業団体として四四年はどのようにとり組むか、手賀農協の野原さんにおねがいします。

野原 私が農協長に就任した当時四二年度産米が倉庫にうず高く積まれておりましてので、たしかに

原 今年は是非とも商工会館を完成したいと考えています。これは昨年の総会で議決されたことです。その後、建設委員会を設けて、推進してきました。その内容は、総工費七百万円で基金と町からの補助をおねがいし、また、事業収入をもってこれに充当する考えで進めています。そのほか、納税申告や記帳の指導は従来どおり行ないませんが、なんといいつつも顧客の誘致ということが最も大切なことで、周辺都市に客をうばわれるようでは、商店の発展はあり得ません。そのため、明るい町、明るい商店をモットーに、観光資源の開発などにも力を入れて、商工業の発展を期したいと存じます。

司会 玉造町の唯一の民間金融機関として常陽銀行の支店長さんか経済展望をひとつ。



町長 町では、昨年から自立農家育成ということで長い間の懸案が実現し、現在百戸余りが指定されています。この人達をトップグループとして、希望をもてる農業が実現する、そして、これにならって続々とあとに続くものが出てくるということを期待しているわけです。

野原 食糧制度の問題は食味のよい米は反収が少ないのだから、これを政府が高く買うということにすれば、生産者米価の問題と余剰在庫の問題が一挙に解決されるのではないかと真げんに考えたことがあります。

町長 現在、全国で六百万ヘクタールの水田があるということで、これを米を作らず、他の作物をつくったと例えれば野菜をたくさんと何をつくったもたちま余ってしまう。一方町の農業人口は減る一方で、現在全人口の二十％を割っていますが、その半面農業世帯数はいく分増加の傾向にあ

鳴高らかに前進する。このような状況の中では、玉造町の農業は米を去ることはできないと考えます。ただし、今までのような経営ではなく、若い労働力が少なくても出来るように省力化と協業化を進めなければなりません。トラクターとコンバインが象徴する大型機械化体型がこれからの米づくりの姿となるでしょう。このように考えてくると、これからの農業は農協の存在を再認識しなければなりません。今までの飼料や肥料の購入、米の販売だけが農協の仕事ではなくなってきました。今後農協を生かすも殺すも農協の働き次第と言うことになるでしょう。

野原　まず農協とはなにか。これを根本的に考えてみる必要があると思います。家族ぐるみの農協にしているが私の希望です。元来、農協は父親だけの農協ということが頭にあると思いますが、これからは、そうであってはいらないと思います。

町長 お話しのように今年は町の
 観光診断を受けて、観光と農業、
 商工業と農業ということで、豊
 な環境の中で裕福な生活が出来る
 町になるよう、みなさんと共に力
 を併せて努力したいと思っています。
 今年は酉年、天の岩戸をあけた鵄
 鳴のようには、夜明けをつげるとき
 の声を高らかに掲げて、希望に満
 ちた新年を迎えましょう。
 司会 ありがとうございます。



新年にか
 ける夢は
 語ってい
 ると、限
 りなく出
 てまいり

ですが、目出たい話しになったと
 ころで座談会をしようと存じま

手袋か、つなぐきりをする。せておかずに、むしろ日に直接手足をあてるようにしてください。

▽お正月はどこの家庭でも、いわゆるおせち料理とおもちが食生活の中心になります。そのうえ、おとなたちは酒ということになるとどうしても胃の負担が重くなりま

す。さらに、運動不足も手伝ってまさに、胃腸にとつての最悪の季節というわけです。

そこで、できるだけ新鮮な生野菜やくだものを食べることが、体の調子をととのえる、たいせつかぎといえます。

▽おもちの保存法—かびの出ないうちに、ポリ袋にいれて、外の空気をいれないようにして、冷蔵庫に入れておくと、二日ごろまでもちます。かびがすではえてしまったら、きれいにけずりとるかし、ポリ袋にいれます。

もう一つの方法は、水もちにすること。これは、二日から三日にかえねばなりません。

次は、よく日にあてたり、風にあたて、かちかちに乾燥させ、小

農業、商工業振興は車の両輪

酉年、鶏鳴高らかに前進

太陽の光があたるところでも、

43年
上半期

事業支出の大半、下半期に

歳入でみると町税は予算額に比
し五二・一割が納入され、納税が
順調に進んでいることを示してい

ます。又国庫支出金は、大半が事業関係費で、この事業が下半期に実施されるため、わずか一〇・一割にとどまっています。

歳出面では、経常費の多い総務費が四四割の執行率を示しているほか、農林水産業費で三七・五割、教育費で一七・五割と、事業費の多い費目は、大部分の執行を下半期に移しております。

なお国民健康保険事業会計では歳入予算に比し収入済額は四九割歳出では、支出済額三三・六割で健全な運営状況を示しています。

⑦ 町有財産の現況

土 地		家 屋	
区 分	面 積	区 分	面 積
公 用	5,544	公 用	1,193.59
公 共 用	149,812	公 共 用	16,559.31
普 通 財 産	69,444	普 通	1,584.19
計	224,800	計	19,337.09

區 分	金 額	保 管
町 基 本 財 産	382	常 銀 預 金
財 政 基 金	10,000	常 銀 預 金
国 保 預 托 金	374	役 場 保 管
信 用 基 金	870	〃
自 治 金 融	750	〃
文 化 福 祉 出 資 金	115	〃
電 話 公 債	1,210	〃

① 一般会計

億円 (単位千円)

項目	予算総額 (億円)	決算総額 (億円)
歳入予算総額	455,116	455,116
歳出予算総額	455,116	455,116
調定	205,104	205,104
配当額	393,983	393,983
収入済額	185,513	185,513
支出済額	122,101	122,101

② 国民健康保険事業会計

項目	予算総額 (億円)	決算総額 (億円)
歳入予算総額	83,136	83,136
歳出予算総額	83,136	83,136
調定	61,020	61,020
配当額	83,136	83,136
収入済額	40,774	40,774
支出済額	27,979	27,979

歳入

予算額455,116千円
収入実績185,513千円
予算外入金等31,420千円

町税 10.8
町債 8.6
国庫 5.7
国 100
客付金 0.1
寄付金 0.2
雑収入 4.8
自動車取得税 0.7

地方交付税 27.4
使用料手料 1.1
分組金 0.0
全金 38.5
支出 10.1

直接税

予算額 33,418 千円
収入済額 18,727 千円
予算 1人当り 2,307

町民税 39.8
固定資産税 55.7
市税 25.6
法人住民税 65.0
自動車税 9.4

歳入

予算額 83,136 千円
収入総額 40,774 千円
1人当り 97,206 円

歳入の内訳 (千円)

項目	金額
国	46.9
都道府県	37.7
市町村	39.0
雑収入	56.8

歳出の内訳 (千円)

項目	金額
国	10.0
都道府県	4.9
市町村	0.1
雑支出	0.0

9月 9日 9月 10日 9月 11日

区 分	数 量
貨 物 自 動 車 (㊦)	3
乗 用 車 (㊦)	1
消 防 車 (㊦)	1
グ レ ー ダ ー (㊦)	2
ロ ー ラ (㊦)	1
大 型 ト ラ ク タ ー (㊦)	1
	1

(單位千円)

億円 (単位千円)

項目	金額 (億円)
歳入予算総額	455,116
歳出予算総額	455,116
調定	205,104
配当額	393,983
収入済額	185,513
支出済額	122,101
歳入予算	83,136
歳出予算	83,136
調定	61,020
配当額	83,136
収入済額	40,774
支出済額	27,979

○外円内の数字は総予算に対する $\%$ を
円内の数字は、費目別の執行率を示す。
○「予算1人当り」は、9月30日現在の人口
14,485人で算出した数字を示す。

直接税

予算額 33,418 千円
収入済額 18,727 千円
予算 1人当り 2,307

町民税 39.8
固定資産税 55.7
市税 25.6
法人住民税 65.0
自動車税 9.4

9月 9日 保険 交付

歳入

予算額 83,136 千円
収入総額 40,774 千円
1人当り 97,206 円

歳出

人件費 56.8
使用料手数料 0.0
雑支出 10.0
国 4.9
雑入金 4.9
県支出金 0.1

区 分	数 量
貨 物 自 動 車 (㊦)	3
乗 用 車 (㊦)	1
消 防 車 (㊦)	1
グ レ ー ダ ー (㊦)	2
ロ ー ラ (㊦)	1
大 型 ト ラ ク タ ー (㊦)	1
	1

區 分	金 額	保 管
町 基 本 財 産	382	常 銀 預 金
財 政 基 金	10,000	常 銀 預 金
国 保 預 托 金	374	役 場 保 管
信 用 基 金	870	〃
自 治 金 融	750	〃
文 化 福 祉 出 資 金	115	〃
電 話 公 債	1,210	〃

みなさんは善意銀行のあることをご存じですか。

善意銀行は、あなたの善意をお預りして、いつでも、あなたの希望によつて役立てる善意のかけ橋の役目を果たすところですよ。

金品、あるいは労力

技術などどんな方法でもけっこうです。

あなたの善意をぜひお預け下さい。

善意銀行の窓口は、役場内町

民室です。

善意のおくりもの

○西谷寿会から玉川小学校へ竹ぼうき

○関口次郎さん(下宿)から下宿玉雲会へ五千元

○玉造町新林開拓農業協同組合長の新堀太一さん(横須賀)から

玉造小
へ二万
円

玉造農
協へ一
万円

社協玉
造支会へ六万円

○飯島勝治さん(西蓮寺)から
社会福祉協議会へ五千元

○西蓮寺寿会から十勝沖地震地へ二千元

○西谷子供会から千円の預託

○関口はるさん(下宿)から社会福祉協議会へ五千元

あなたの善意を
お預りします

善意銀行

さく割って、かんに保存します。これを春さきに、油であげていただくと、とてもおいしいものです。

▽日本の家屋は、家全体を暖かにするようなわけにはいきません。そこで、家族が常に集まる室をきめ、すき間風をふせぎ、ストーブなどの暖房器具をおいて一家団らんの間を作ります。

案外寒いのが台所。主婦は、一日のうちの大半を台所で過ごすのに、台所の暖房には、無関心。台所には、いつも火があるはずですから、外部との仕切りなどをくふうすれば、暖かにできるものです。台所があたたかいことは女性の健康に欠かれないことです。

▽酸化炭素中毒による事故が、あいかわらず出ています。ガス、ストーブ、炭火、れんたんによる暖房には、とくに気をつけましょう。

▽石油ストーブによる火災も頻発しています。万一、火を出したら「どうするか」を、家族全員が、しっかり心得ておく必要があります。

▽散水用に庭に出してある水道が寒さのために凍ることがあります。露出部を早めに、布やわらなどで包んでおきましょう。

▽寒さに弱い庭木の保護、雪による枝折れなどの対策は、男手をかりて、早めにすませておきましょう。同時に、そろそろ庭木の寒肥も準備しましょう。

▽高血圧の方には、寒さが大敵です。とくに急に冷い空気にふれることは禁物。夜中に、便所におきるときは、必ず、はんでんなどを着せてやりましょう。

▽やけどをしたら、油をすぐぬるのが常識とされていますが、むしろ、すぐ水でひやすことが先決です。

▽肌あれをふせぐには化粧品より食事の方がたいせつ。脂肪分をたっぷりとり、ネギ、キャベツ、ホウレン草、ニンジンなどをたくさんいただくまじょう。

▽正月の七日に、七種の野菜をいれたおかゆを食べる風習は、もはやほとんどの地域で行われなくなり、日本全体が都市化されてゆく今日、さびしいことです。玉造ではいわゆる「ななくさがゆ」を食べるところもあるようです。

もともとは、正日のお供え物を集めて、若菜といっしょに食べたことに由来するもので、現代風に考えても、なかなか季節にあった合理的な食生活の一つなの生です。

